

令和4年度普及活動アルバム

南信州農業農村支援センター

南信州農業農村支援センターでは、「第3期長野県食と農業農村振興計画」の最終年度として、同計画の6つの重点戦略に基づいた普及活動を展開しました。特に地域で重要かつ緊急的に取り組むべき課題として、「改・新植に係る課題解決による日本なし産地の生産力向上」と「地域性を活かした魅力あるきゅうり経営の推進」の2課題を重点活動課題に位置付け、プロジェクト活動として取り組みを進めてきました。

各作目の生産振興や地域振興についても、一般活動課題として取り組み、多様な担い手の確保育成や生産力の向上、地域の活性化について様々な成果が上がっています。



【通年】【重点課題】 枝挿入法による白紋羽病簡易 診断法の実施・周知

なしジョイント栽培園の白紋羽病の感染状況を把握するために、枝挿入法による簡易診断を21園地で実施しました。5月下旬に目揃い会を、その後に枝挿入を実施し、7月の判定会では、44%の園地で罹病を確認しました。白紋羽病リスクを生産者に周知するため、チラシを作成し全戸配布を行いました。



【5月】【重点課題】 樹体ジョイント栽培研修会の 開催

南信農業試験場において開催した研修会には68名の参加者があり、生産者の関心の高さが伺えました。側枝の配枝が単純な本技術は、棚面の利用率が高く、収量確保が容易です。優良園の育成に向け早期成園化に必要な管理技術のポイントを周知しました。



【6月】

「新規就農者激励会」の開催

南信州農業の新たな担い手として期待される新規就農者の激励会を6月16日に開催しました。当日参加した5名の新規就農者から現状や将来への展望が発表されるとともに、農業士やJA青年部等先輩農業者からの事例発表がありました。また、管内の5青年クラブから活動紹介があり、加入が呼びかけられました。



【7月】【重点課題】

「きゅうり青空教室」の開催

7月7日に「夏季の栽培管理のポイントと農薬散布の再点検」をテーマとし、生産者のほ場で開催しました。

参加した15名の新規栽培者からは、実際の防除の様子や薬剤の付着状況がよく分かったといった評価が聞かれたとともに、新規栽培者同士の情報交換も活発に行われました。

#2 キュウリへと病

病原菌の種類：糸状菌

特徴

- 発生部位は葉のみで、葉脈に囲まれた角形の病斑が特徴（右写真）
- 初発は、境界のはっきりしない小さな斑点であるが、病害の進行と共に角形の病斑となる
- 湿度が高いと、病斑の葉裏に紫黒色の菌叢を生ずる
- やや低温（20～24℃）の多湿条件下で発生しやすい

防除のポイント

- 共通防除ポイント②
- 共通防除ポイント③
- 共通防除ポイント④
- 共通防除ポイント⑤
- 共通防除ポイント⑥
- へと病菌は葉裏の気孔から侵入するので、葉裏へも薬剤を付着させる

【通年】【重点課題】

きゅうり病害虫図鑑の作成

図鑑は令和3年度に作成を開始し、現在病害8種、害虫8種、生理障害3種が掲載されています。PDFファイル形式でまとめてあり、HPに掲載したほか、指導用資料にQRコードを貼付し、スマートフォン等で手軽に利用できるように工夫しています。

今後もさらなる改良と拡充を図っていきます。



**【7月】
「スマート農業機器の実演・
体験研修会」の開催**

スマート農業の普及推進を図るため、長野県農業経営者協会下伊那支部と共催で、7月8日に松川町の果樹園において開催しました。

リモコン式草刈機や農業用ドローンなどの実演・操作体験の他、県のスマート農業への取組状況や導入可能な補助事業を紹介しました。



**【8月】
ハクビシン対策電気柵設置講習会の開催**

ぶどうやももで被害の大きいハクビシンへの対策として、侵入防止に効果的とされる電気柵「かたまったくん」の実証展示及び設置講習会を8月10日に豊丘村で開催しました。

当日は村内の果樹農家を中心に5名が参加し、対策の講習を受けたほか、資材の設置体験も行いました。



**【10月】
「大人の食育食事会」の開催**

南信州地域で育てられたシャインマスカットをテーマ食材として、食事会を開催しました。農家からは栽培の様子や想いを、シェフからは素材のおいしさを引き立たせる調理加工方法の話をして、それぞれ聞きながら食事を楽しみました。公募した8名の参加者には料理を味わいながら食育を体験していただきました。



【通年】

トヨタ式カイゼン手法の導入

南信州管内の農家へトヨタ式カイゼン手法の導入支援を行い、農家の経営改善に役立てています。4回の研修を通じて、カイゼン活動の概要説明と取組事例について紹介しました。

実際に導入した農家では、ホワイトボードを活用した進捗状況及び作業情報の共有による従業員の手待ち時間の解消を図りました。



【11月】

無煙炭化器実演会の開催

二酸化炭素排出量の削減に寄与する未利用有機物を活用した炭素貯留の取り組みとして、果樹せん定枝の炭化・土壌還元が注目されています。

支援センターでは、11月1日に南信農業試験場で無煙炭化器を用いた果樹せん定枝の炭化実演会を開催しました。

当日は35名が出席し、無煙炭化器利用のメリットと課題について確認しました。



【11月】

信州の伝統野菜(ねぎ)の採種講習会の開催

信州の伝統野菜の形質安定と種子継承を図るため、11月25日に飯田市千代でねぎの採種講習会を開催しました。管内で栽培されている「千代ネギ」、「御所ねぎ」の生産者ら18名の参加がありました。

採種技術の基礎理論等についての講義に参加者は熱心に耳を傾けていました。